

第2章 高齢者を取り巻く状況

- 1．人口等の状況
- 2．世帯の状況
- 3．認定者等の状況
- 4．就労・生きがい活動の状況
- 5．保健福祉の状況
- 6．アンケート結果からみる高齢者の状況

第2章 高齢者を取り巻く状況

1. 人口等の状況

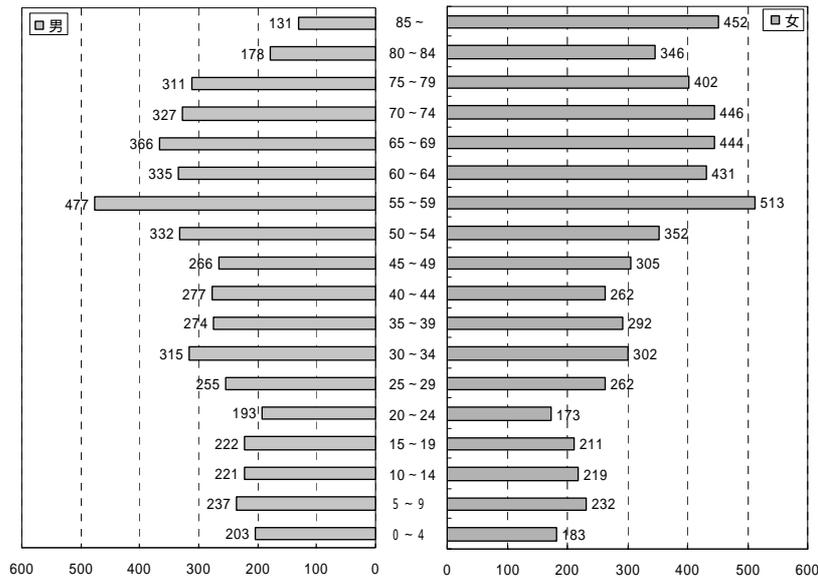
(1) 人口構造

本町の平成17年10月1日現在の国勢調査の人口は、男性が4,920人、女性が5,827人、合計10,747人となっています。

第1次ベビーブームの昭和22～24年に生まれた人を含む55～59歳の年齢階層と、第2次ベビーブームの昭和46～49年に生まれた人を含む30～34歳の年齢階層が多い傾向がみられます。

また、平成12年10月1日現在の国勢調査人口構造と比較すると、30歳未満の年齢階層の人口は減少し、75歳以上の年齢階層の人口は増加するなど、より少子高齢化が顕著になっているといえます。

琴平町の人口構造(平成17年10月1日現在) 単位:人



資料: 国勢調査

(2) 人口構造推移

昭和55年から平成17年までの本町の人口構造の推移を国勢調査結果からみると、総人口は一貫して減少しており、昭和55年から平成17年までの間に約2割の減少となっています。

65歳以上人口は、昭和55年から平成17年までの間に2,115人から3,403人へ増加し、高齢者が全人口に占める割合である高齢化率は31.7%と、全人口の約3割が65歳以上の高齢者となっています。

また、介護保険制度で第2号被保険者となる40～64歳人口は、昭和55年から平成17年までの間に4,546人から3,550人へ約2割の減少となっています。

人口構造の推移

単位:人

	昭和 55年	昭和 60年	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年
総人口	13,807	13,323	12,632	12,002	11,335	10,747
男	6,414	6,184	5,765	5,464	5,154	4,920
女	7,393	7,139	6,867	6,538	6,181	5,827
0～14歳[年少人口]	2,801	2,478	1,925	1,592	1,430	1,295
15～64歳[生産年齢人口]	8,867	8,488	8,057	7,482	6,783	6,049
65歳以上[老年人口]	2,115	2,357	2,650	2,928	3,122	3,403
(高齢化率)	15.3%	17.7%	21.0%	24.4%	27.5%	31.7%
40～64歳[第2号被保険者]	4,546	4,503	4,670	4,303	3,938	3,550
(総人口比)	32.9%	33.8%	37.0%	35.9%	34.7%	33.0%
65～74歳[前期高齢者]	1,355	1,382	1,414	1,569	1,581	1,583
(総人口比)	9.8%	10.4%	11.2%	13.1%	13.9%	14.7%
65～69歳	767	689	771	860	815	810
70～74歳	588	693	643	709	766	773
75歳以上[後期高齢者]	760	975	1,236	1,359	1,541	1,820
(総人口比)	5.5%	7.3%	9.8%	11.3%	13.6%	16.9%
75～79歳	404	485	618	561	626	713
80～84歳	228	317	374	453	446	542
85歳以上	128	173	244	345	469	583

資料:国勢調査

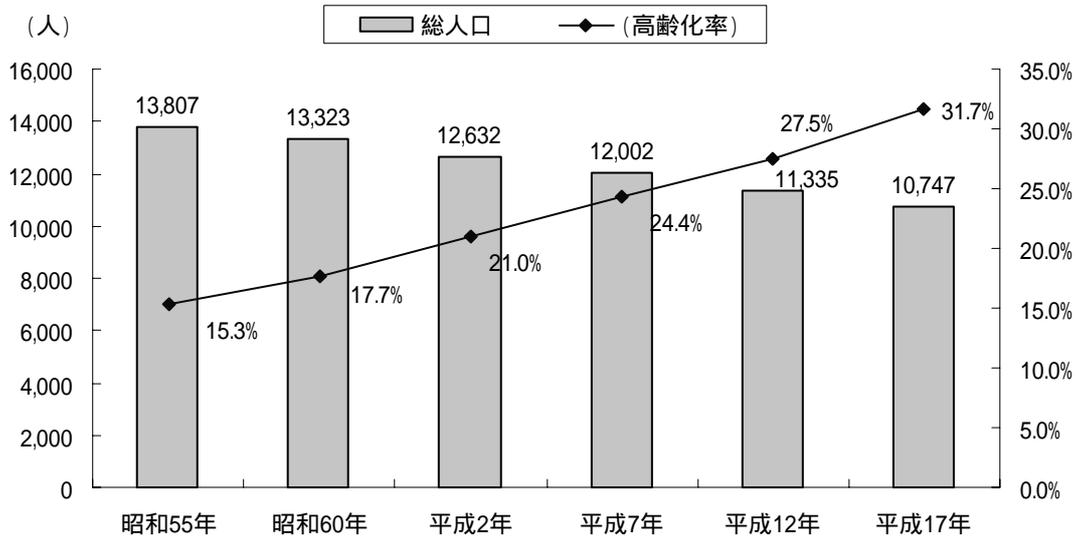
1. 人口等の状況

総人口と高齢化率の推移

本町の総人口は一貫して減少を続けており、特に昭和60年から平成17年までは5年ごとに約5%の減少となっています。

一方、高齢化率は一貫して増加しており、平成17年では31.7%と約3割の方が65歳以上の高齢者となっています。

人口推移状況

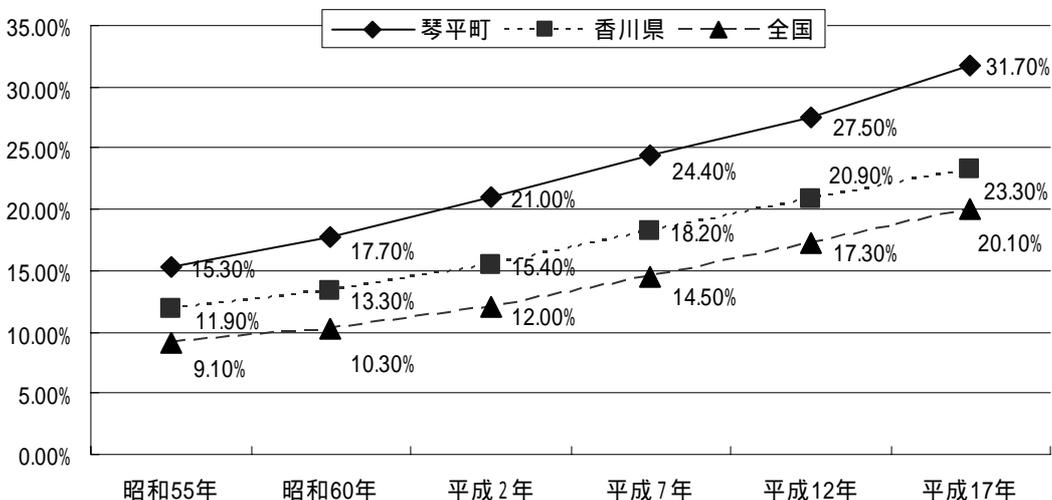


資料: 国勢調査

高齢化率の推移比較

本町の高齢化率の推移を香川県及び全国と比較すると、昭和55年以降、国及び県の数値を上回っており、特に平成17年においては、全国よりも11.6ポイント、県よりも8.4ポイント上回っています。また、昭和55年から平成17年までの高齢化率の伸びは、琴平町は16.4ポイントとなっていますが、全国では11.0ポイント、香川県でも11.4ポイントであることから、高齢化の進行も国や県と比較して速いことがわかります。

高齢化率の推移状況



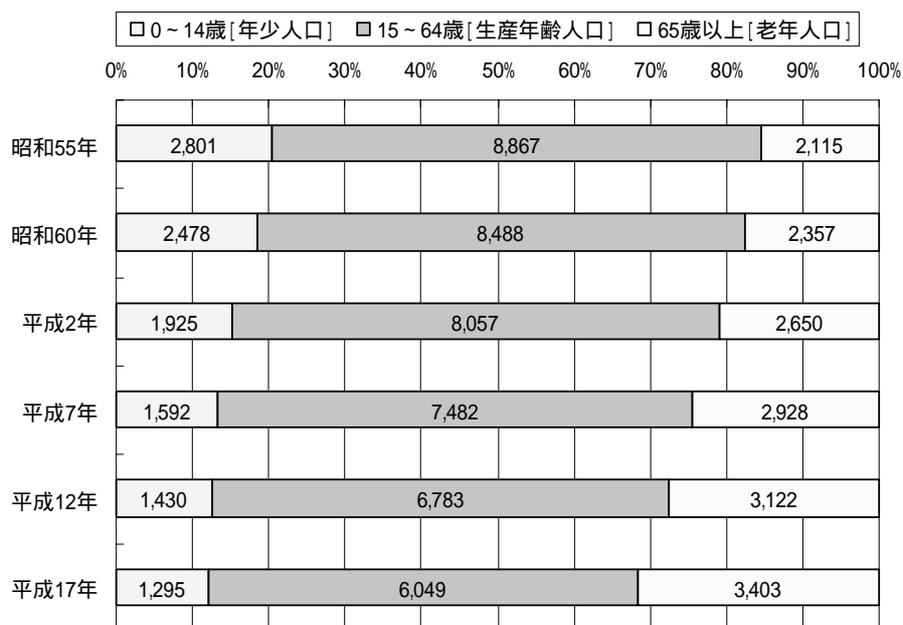
資料: 国勢調査

年齢3区分別構成割合の推移

年齢3区分別構成割合の推移をみると、年少人口及び生産年齢人口の割合は一貫して減少しているのに対し、老年人口の割合は一貫して増加しています。

昭和60年から平成2年にかけて、老年人口の割合が年少人口の割合を逆転し、平成17年には老年人口の割合31.7%に対して年少人口12.0%と、その差はますます開いています。

年齢3区分構成割合の推移状況

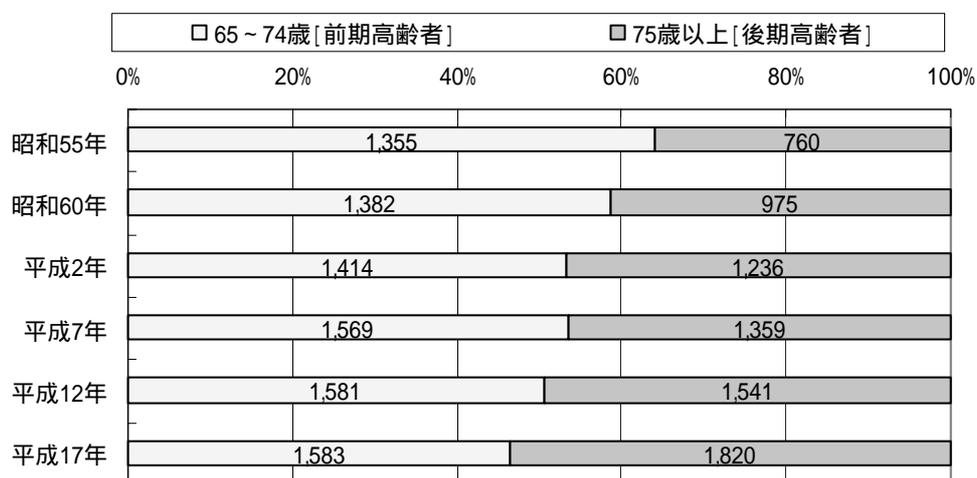


資料: 国勢調査

前期・後期別高齢者割合の推移

高齢者を65歳以上74歳以下の前期高齢者と75歳以上の後期高齢者に分けてその割合の推移をみると、前期高齢者の割合が減少しているのに対して後期高齢者の割合は増加しています。平成12年から平成17年にかけて、後期高齢者の割合が前期高齢者の割合を逆転し、半数以上が後期高齢者となっています。

前期・後期別高齢者割合の推移



資料: 国勢調査

2. 世帯の状況

2. 世帯の状況

一般世帯数をみると、昭和55年から平成17年までは緩やかな増減を繰り返しています。高齢者のいる世帯の推移をみると、ほぼ一貫して増加しており、平成17年には4,121世帯中2,142世帯と、半数以上の世帯（52.0%）に65歳以上の高齢者がいます。

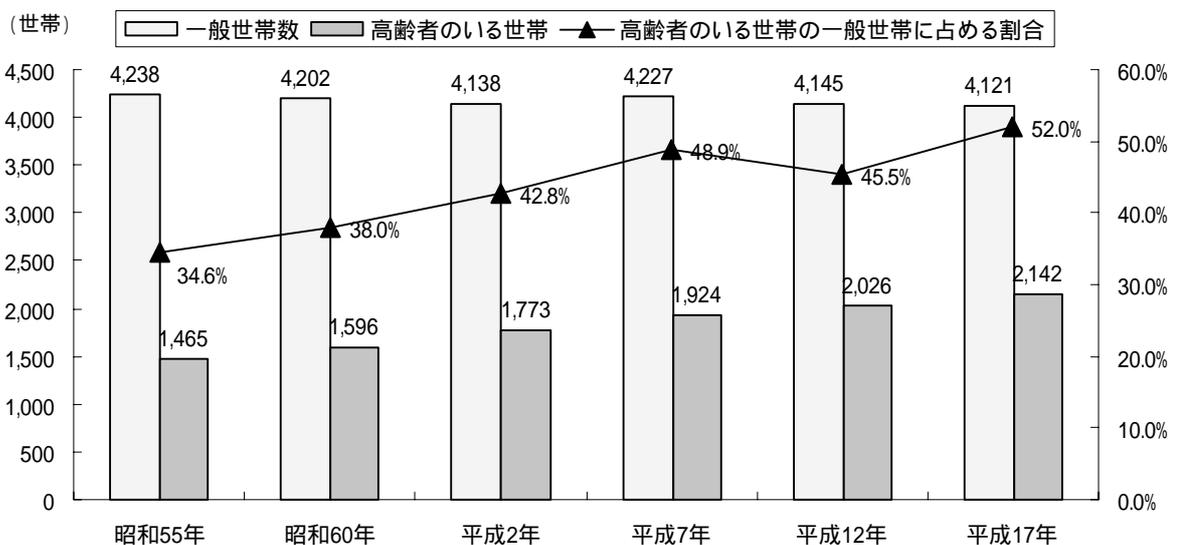
一方、一般世帯中に占める高齢者のいる世帯の内訳をみると、昭和55年以降、高齢者同居世帯はわずかな増加にとどまっていますが、高齢者単独世帯及び高齢者夫婦世帯の割合の伸びは大きく、ともに一般世帯中の約15%を占めています。高齢者世帯の増加については、今後高齢者の介護者不足や高齢者による老老介護といった問題の発生が懸念されます。

世帯の状況

(単位:世帯)

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
一般世帯数	4,238	4,202	4,138	4,227	4,145	4,121
世帯人員	3.26	3.17	3.02	2.84	2.73	2.51
高齢者のいる世帯	1,465	1,596	1,773	1,924	2,026	2,142
（一般世帯比）	34.6%	38.0%	42.8%	48.9%	45.5%	52.0%
高齢者単独世帯	232	301	413	496	461	646
（一般世帯比）	5.5%	7.2%	10.0%	12.0%	10.9%	15.7%
高齢者夫婦世帯	276	305	389	503	443	609
（一般世帯比）	6.5%	7.3%	9.4%	12.1%	10.5%	14.8%
高齢者同居世帯	957	990	971	1,027	1,020	887
（一般世帯比）	22.6%	23.6%	23.5%	24.8%	24.1%	21.5%

資料: 国勢調査



3. 認定者等の状況

本町においては、今後も人口が減少する中で、高齢者人口は増加の状態が続く、後期高齢者数も増加します。その結果、要介護等の認定者が増加し、それに伴い、介護サービスのニーズが増加することが予想されます。そのため、健康づくりや介護予防の効果的な実施が求められます。

高齢者のうち、後期高齢者の増加に伴う要介護（要支援）者、とりわけ中重度の大幅な増加が予測されるとともに、ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加が見込まれます。

(1) 認定率・認定者数の推移

要支援・要介護の認定率及び認定者数の推移を見てみると、平成18年度から平成20年度にかけては、若干減少の傾向がみられます。ただし、高齢者人口等の予測を考慮すれば、今後もこのままの傾向で推移することはないと予想されます。

要支援・要介護認定率・認定者数の推移（1要介護（支援）認定者数 / 被保険者数）

		認定率 1 (%)			認定者数 (人)		
		H18	H19	H20	H18	H19	H20
要支援 1	第1号被保険者	2.6	1.9	1.8	85	62	61
	第2号被保険者	0.1	0.1	0.2	2	4	6
要支援 2	第1号被保険者	1.3	2.0	2.0	44	68	67
	第2号被保険者	0.1	0.1	0.2	2	5	7
要介護 1	第1号被保険者	4.0	3.0	2.9	133	99	96
	第2号被保険者	0.1	0.1	0.1	3	2	4
要介護 2	第1号被保険者	2.1	2.2	2.2	70	74	72
	第2号被保険者	0.1	0.1	0.1	2	3	5
要介護 3	第1号被保険者	1.7	2.1	2.1	57	71	69
	第2号被保険者	0.2	0.1	0.1	6	3	5
要介護 4	第1号被保険者	1.5	1.8	1.8	48	59	58
	第2号被保険者	0.1	0.0	0.1	2	1	3
要介護 5	第1号被保険者	2.1	1.7	1.6	70	55	54
	第2号被保険者	0.0	0.1	0.1	1	2	4
全体	第1号被保険者	15.4	14.7	14.4	507	488	477
	第2号被保険者	0.5	0.6	0.9	18	20	33

資料：琴平町福祉保健課

(2) 認定率の比較(県・他市町との比較)

香川県全体及び県内他市町の認定率(平成17年度)を比べてみると、琴平町は16.1%で、県全体の17.5%よりも低く、県内17市町のうち6番目の低さとなっています。

認定率の比較(平成17年度)

単位:人

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	第1号 被保険者	認定率
香川県	6,988	15,367	5,699	4,652	4,464	4,280	41,450	236,846	17.5%
高松市	2,307	6,764	2,215	1,832	1,736	1,725	16,579	84,958	19.5%
丸亀市	469	1,355	524	449	372	362	3,531	22,989	15.4%
坂出市	885	974	369	313	276	258	3,075	14,971	20.5%
善通寺市	294	328	148	131	89	99	1,089	8,343	13.1%
観音寺市	546	681	320	293	266	224	2,330	16,901	13.8%
さぬき市	301	1,082	398	264	286	272	2,603	14,400	18.1%
東かがわ市	327	673	254	179	196	194	1,823	10,788	16.9%
三豊市	477	852	450	396	386	364	2,925	20,114	14.5%
土庄町	225	270	119	82	117	80	893	5,165	17.3%
小豆島町	173	284	150	116	122	102	947	5,810	16.3%
三木町	242	541	163	104	125	155	1,330	6,646	20.0%
直島町	30	74	19	18	19	15	175	1,004	17.4%
宇多津町	106	117	62	58	68	42	453	2,642	17.1%
綾川町	194	549	188	142	144	125	1,342	6,770	19.8%
琴平町	93	180	82	65	43	65	528	3,289	16.1%
多度津町	139	295	126	97	97	87	841	5,913	14.2%
まんのう町	180	348	112	113	122	111	986	6,143	16.1%

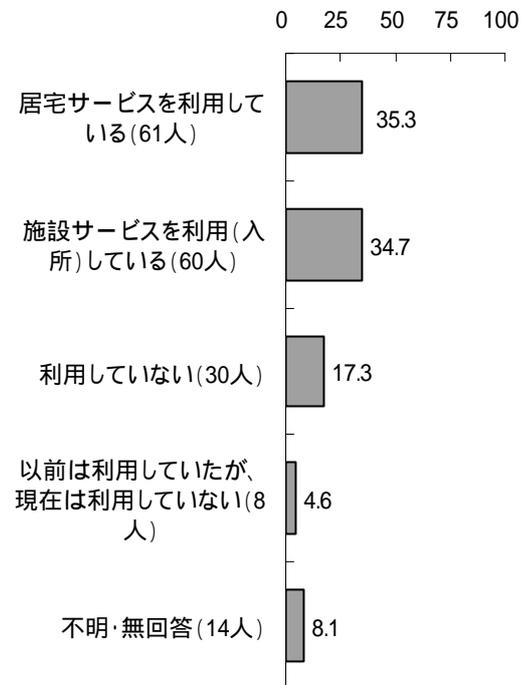
資料:WAM NET

(3) 未利用者の状況

アンケート(琴平町高齢者保健福祉計画・介護保険に関する実態調査)によると、要介護(支援)認定者のうち介護サービスを「利用していない」及び「以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答したのは合わせて21.9%で、居宅・施設合わせたサービス利用者が70.0%を占めています。

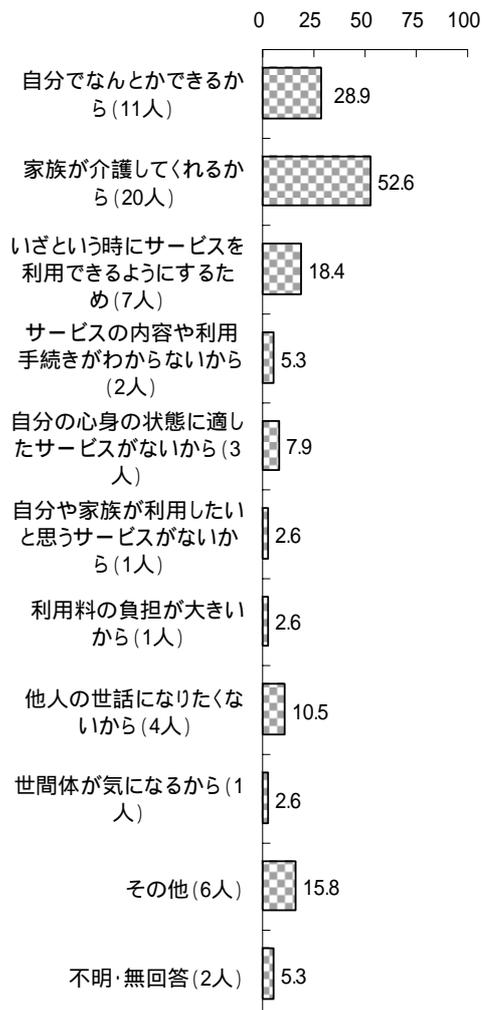
現在介護サービスを利用しているか

サンプル数:173 単位:%



サービスを利用していない理由

サンプル数:38 単位:%



また、「利用していない」及び「以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答した方に、介護サービスを利用していない理由をたずねたところ、「家族が介護してくれるから」が52.6%で最も多く、次いで「自分でなんとかできるから」の順になっています。

4. 就労・生きがい活動の状況

(1) 就業者数(65歳以上)

平成17年10月1日の国勢調査における琴平町内全就業者数は5,218人であり、そのうち831人(15.9%)が65歳以上の高齢者となっています。香川県の割合は10.9%であることから、琴平町の65歳以上の就業者の割合は比較的高くなっています。

また、65歳以上の高齢者人口3,403人のうち高齢者就業人口は831人(24.4%)であり、高齢者の4人に1人は就業していることとなります。

就業の状況(平成17年)

単位:人

	総人口		就業人口		(総人口比)
	人数	割合	人数	割合	
全体	10,747		5,218	48.6%	48.6%
うち65歳以上人口	3,403		831	24.4%	24.4%
(全対比)		31.7%		15.9%	

資料:国勢調査

(2) 業種別就業者の状況

業種別に高齢者の就業人口をみると、最も多いのは「卸売・小売業」の273人となっていますが、業種別総数に占める高齢者の割合が最も高いのは「農業」の56.2%であり、半数以上が65歳以上の高齢者であることがわかります。

業種別就業の状況(平成17年)

単位:人

		全就業人口		65歳以上就業人口			
		人数	全就業人口に占める割合	人数	全就業人口に占める割合	65歳以上の就業人口に占める割合	業種別総数に占める割合
総数		5,218	100.0%	831	15.9%	100.0%	
第一次	農業	306	5.9%	172	3.3%	20.7%	56.2%
	林業	0	-	0	-	-	-
	漁業	8	0.2%	0	-	-	-
第二次	鉱業	0	-	0	-	-	-
	建設業	433	8.3%	40	0.8%	4.8%	9.2%
	製造業	748	14.3%	74	1.4%	8.9%	9.9%

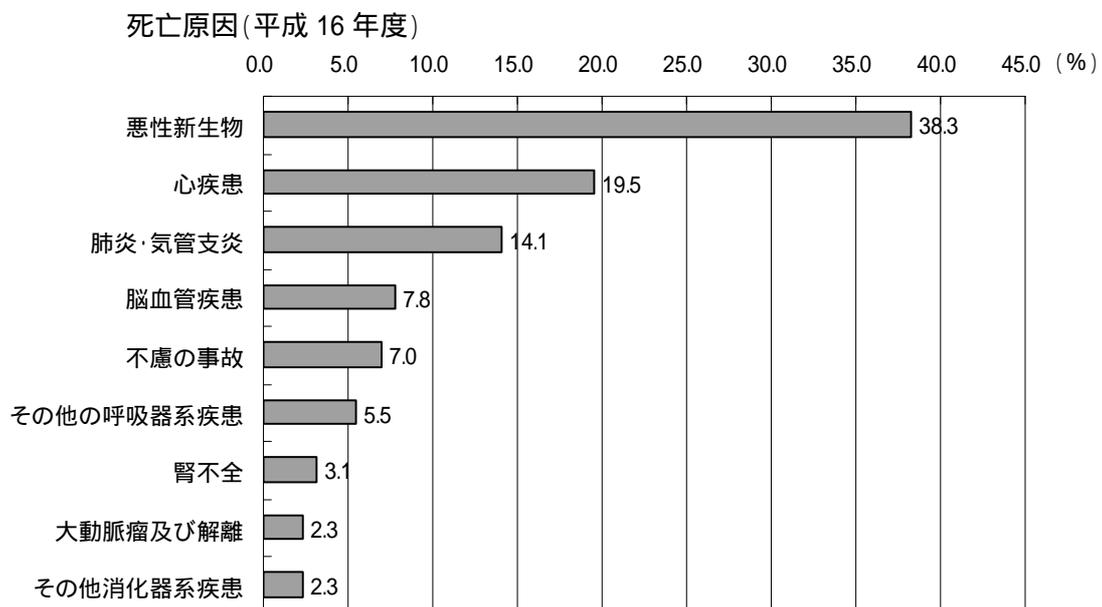
	全就業人口		65歳以上就業人口				
	人数	全就業人口に占める割合	人数	全就業人口に占める割合	65歳以上の就業人口に占める割合	業種別総数に占める割合	
第三次	電気・ガス・熱供給・水道業	17	0.3%	0	-	-	-
	情報通信業	41	0.8%	0	-	-	-
	運輸業	168	3.2%	5	0.1%	0.6%	3.0%
	卸売・小売業	1,143	21.9%	273	5.2%	32.9%	23.9%
	金融・保険行業	103	2.0%	4	0.1%	0.5%	3.9%
	不動産業	32	0.6%	10	0.2%	1.2%	31.3%
	飲食店・宿泊業	589	11.3%	73	1.4%	8.8%	12.4%
	医療・福祉	478	9.2%	37	0.7%	4.5%	7.7%
	教育・学習支援業	199	3.8%	18	0.3%	2.2%	9.0%
	サービス業	711	13.6%	117	2.2%	14.1%	16.5%
	公務	201	3.9%	6	0.1%	0.7%	3.0%
	分類不能	41	0.8%	2	0.0%	0.2%	4.9%

資料：国勢調査

5. 保健福祉の状況

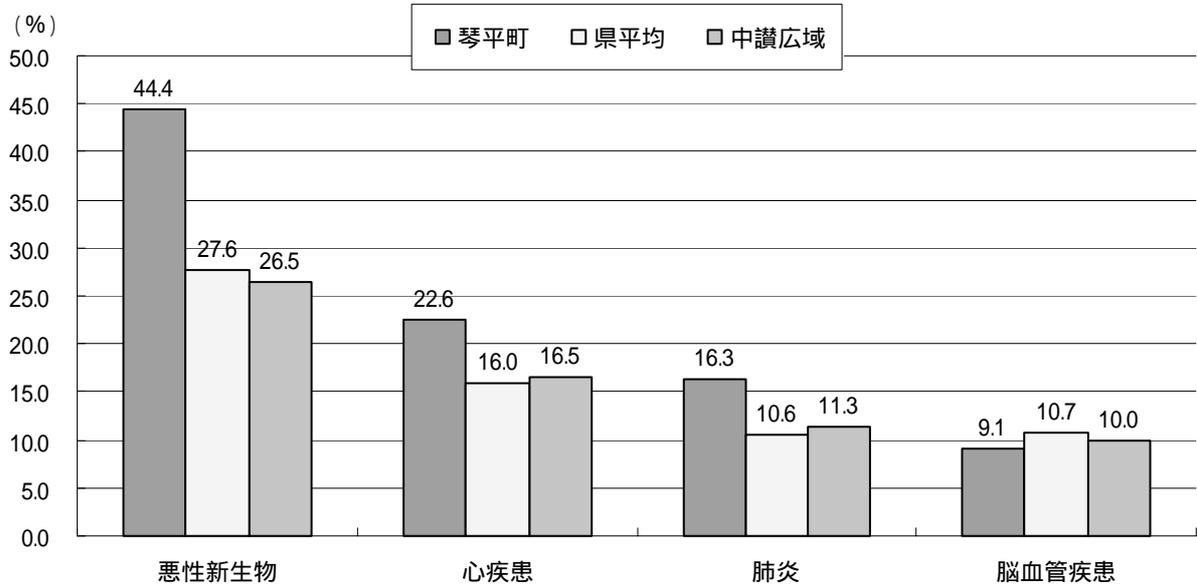
(1) 疾病状況

疾病における死亡状況をみると、悪性新生物（肺がん・胃がん等）が最も多く、次いで、心疾患、肺炎・気管支炎の順になっています。



上位死亡の死亡率を香川県平均及び中讃広域と比較すると、悪性新生物、心疾患、肺炎において上回っており、特に悪性新生物は20%近く高くなっています。

上位死亡の死亡率(人口1万対) 平成16年度



資料: 琴平町健康増進計画

(2) 健診受診状況

基本健診及び各種がん検診の受診状況をみると、平成18年度の受診率は、基本健診34.8%、胃がん検診15.1%、肺がん検診29.5%、子宮がん検診16.2%、乳がん検診15.3%、大腸がん検診20.4%となっています。

健診受診状況

単位:人

		平成16年度	平成17年度	平成18年度
基本健診	対象者数	4,200	4,038	4,952
	受診者数	1,699	1,673	1,722
	受診率	40.5%	41.4%	34.8%
胃がん検診	対象者数	4,765	4,796	4,544
	受診者数	515	463	687
	受診率	10.8%	9.7%	15.1%
肺がん検診	対象者数	4,066	4,287	4,924
	受診者数	1,652	1,411	1,451
	受診率	40.6%	32.9%	29.5%
子宮がん検診	対象者数	3,413	3,770	3,566
	受診者数	350	327	250
	受診率	10.3%		16.2%
乳がん検診	対象者数	3,452	2,955	2,767
	受診者数	330	283	140
	受診率	9.6%		15.3%
大腸がん検診	対象者数	5,000	5,128	4,900
	受診者数	899	879	1,001
	受診率	18.0%	17.1%	20.4%

平成17年度より、子宮がん・乳がん検診が隔年検診となったため、受診率は、(前年度受診者数 + 当該年度受診者数) / 該当年度対象者数で算出しています。

資料: 琴平町健康増進計画

6. アンケート結果からみる高齢者の状況

(1) 調査の概要

調査の種類	調査対象	配布数 (部)	調査有効部数 (部)	回収数 (部)	回収率 (%)
高齢者一般用	町内在住の65歳以上の高齢者から無作為抽出した1,000人(要介護(支援)認定者は除く)	1,000	994	710	71.4
要介護(支援)認定者用	町内在住の要介護及び要支援認定者全員(悉皆調査)	441	432	173	40.0
40~64歳 (第2号被保険者)用	町内在住の40~64歳から無作為抽出した1,000人(要介護(支援)認定者は除く)	1,000	995	368	37.0
合計		2,441	2,421	1,251	51.7

(2) 調査回答者の状況

調査回答者の状況について、一般高齢者、要介護(支援)認定者及び第2号被保険者いずれも、性別は「女性」が半数以上となっており、特に、要介護(支援)認定者では、女性が72.3%を占めています。

年齢については、一般高齢者では「70歳~74歳」が3割弱、前期高齢者(65歳~74歳)が48.8%と約半数を占め、要介護(支援)認定者では「85歳以上」が半数を占めています。40~64歳の第2号被保険者では高年齢の区分ほど多くなっています。

居住地区については、一般高齢者、要介護(支援)認定者及び第2号被保険者いずれも「琴平地区」が最も多く、約3割を占めています。

世帯状況については、一般高齢者では「夫婦ふたり暮らし」が36.6%と最も多く、要介護(支援)認定者では「他世代との同居世帯」が35.8%と最も多くなっています。「ひとり暮らし」と「夫婦ふたり暮らし」を合わせると、それぞれ53.5%及び35.8%と、老老介護の現状が考えられます。第2号被保険者では、「本人と高齢者のみの世帯」が40.8%と最も多くなっています。

要介護(支援)認定者の要介護度は、「要支援2」が19.1%と最も多く、これと「要支援1」及び「要介護1」を合わせると45.7%となり、比較的軽度の認定者が半数近くを占めています。逆に、最重度の「要介護4」と「要介護5」は合わせて20.8%を占めています。

健康状態については、一般高齢者及び第2号被保険者ともに「普通」が半数近くを占めています。一般高齢者では「あまり良くない」及び「良くない」を合わせて23.4%が健康状態に不安を持っているのに対して、第2号被保険者では13.6%と比較的健康不安は低くなっています。

調査回答者の状況

調査種別(対象)	回答数	内訳							
性別		男性		女性		無回答			
一般高齢者	710	41.3%		56.3%		2.4%			
要介護(支援)認定者	173	26.0%		72.3%		1.7%			
40~64歳(第2号被保険者)	368	42.9%		54.7%		2.4%			
年齢		64歳以下	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	無回答	
一般高齢者	710		21.5%	27.3%	25.4%	14.2%	9.3%	2.3%	
要介護(支援)認定者	173	4.0%	8.1%	5.2%	11.6%	20.2%	50.3%	0.6%	
年齢		40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	無回答		
40~64歳(第2号被保険者)	368	13.9%	14.7%	17.9%	21.5%	28.8%	3.3%		
居住地区		琴平地区	榎井地区	五條地区	象郷地区	その他*	無回答		
一般高齢者	710	38.5%	25.5%	14.9%	17.7%		3.4%		
要介護(支援)認定者	173	36.4%	27.2%	13.3%	19.7%	2.9%	0.6%		
40~64歳(第2号被保険者)	368	28.0%	26.1%	16.0%	27.2%		2.7%		
世帯状況		ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	本人と高齢者のみの世帯	他世代との同居世帯	その他	無回答		
一般高齢者	710	16.9%	36.6%	3.4%	35.5%	4.2%	3.4%		
要介護(支援)認定者	173	22.5%	13.3%	5.2%	35.8%	19.1%	4.0%		
40~64歳(第2号被保険者)	368	5.7%	23.1%	40.8%	15.8%	11.7%	3.0%		
要介護度		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
要介護(支援)認定者	173	13.3%	19.1%	13.3%	15.0%	13.9%	11.0%	9.8%	4.6%
健康状態		良い	まあ良い	普通	あまり良くない	良くない	無回答		
一般高齢者	710	11.5%	16.1%	46.8%	18.9%	4.5%	2.3%		
40~64歳(第2号被保険者)	368	16.6%	23.1%	46.2%	11.4%	2.2%	0.5%		

四捨五入の処理上、合計が100%にならない場合がある

居住地区の「その他」は、町外

要介護度は、要介護認定者のみの質問項目

健康状態は、一般高齢者及び第2号被保険者のみの質問項目

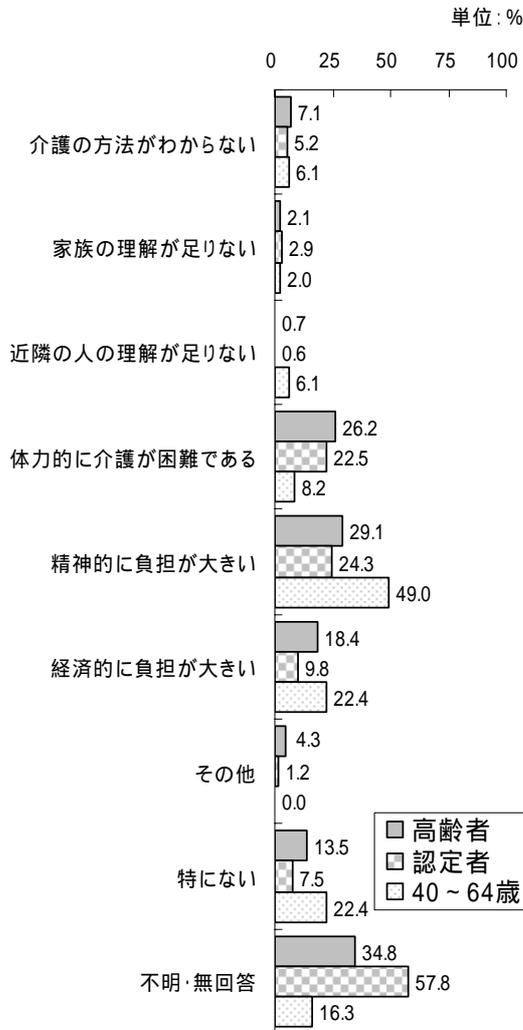
(3) 調査結果の概要

介護の課題・ニーズについて

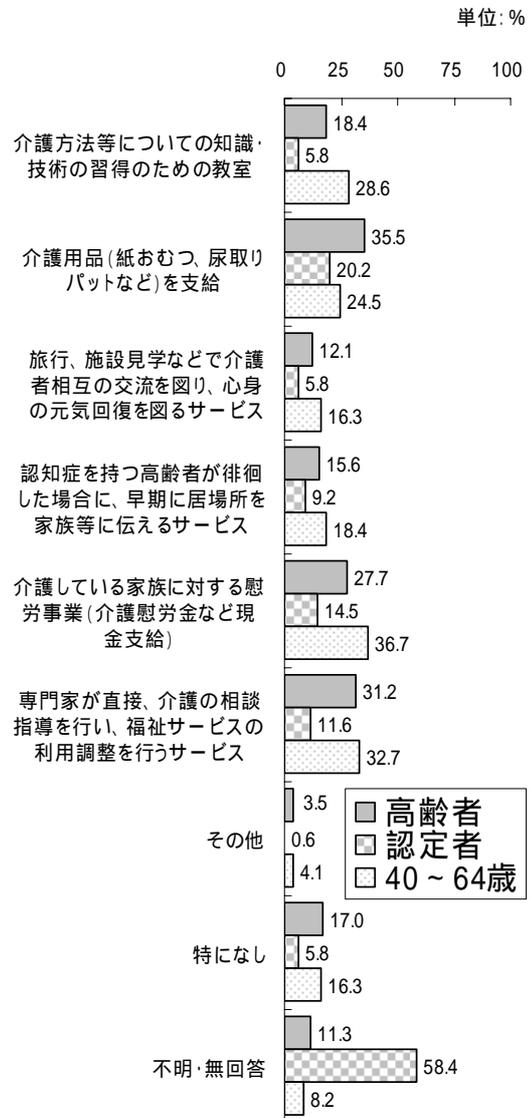
現在、家族の介護をしている方に、介護で困っていることについてたずねると、高齢者、認定者そして40～64歳の方いずれも「精神的に負担が大きい」という意見が最も多くなっています。

また、今後利用したい介護者支援サービスについては、高齢者及び認定者で「介護用品（紙おむつ、尿取りパットなど）を支給」が、40～64歳の方で「介護している家族に対する慰労事業（介護慰労金など現金支給）」が最も多くなっています。

介護を行ううえで、困ること



利用したい介護者支援サービス

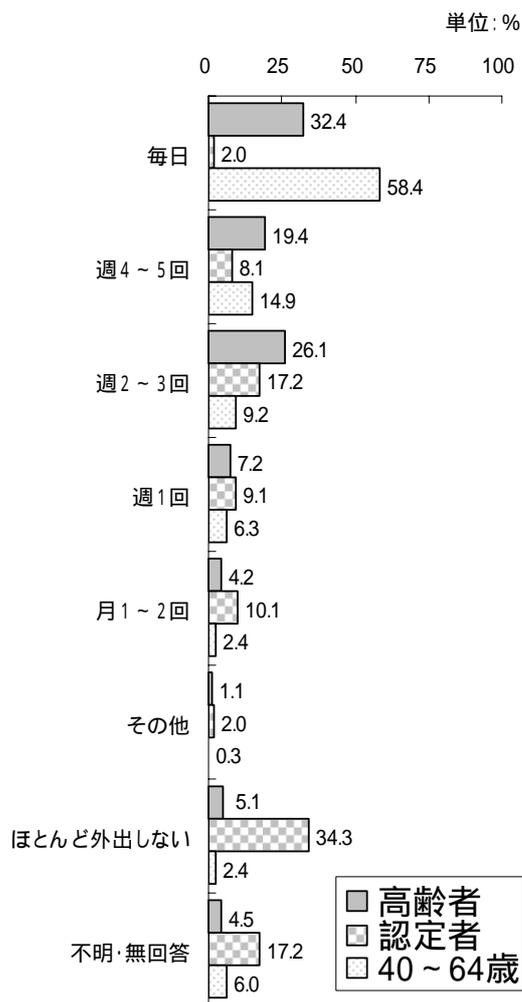


外出の状況について

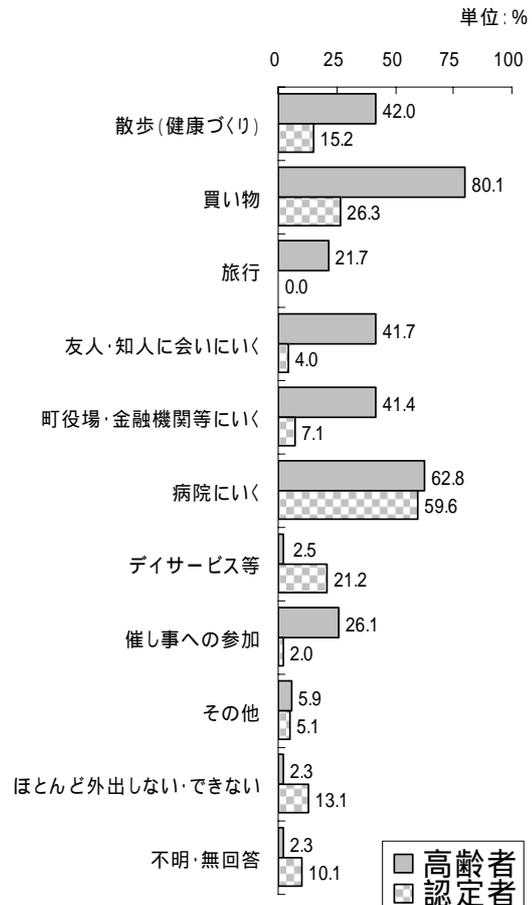
外出の状況についてたずねたところ、ふだんの外出頻度は、高齢者及び40～64歳の方では「毎日」が、認定者では「ほとんど外出しない」が最も多くなっています。

また、外出時の目的は、高齢者では「買い物」が、認定者では「病院に行く」が最も多くなっています。

外出頻度



外出時の目的

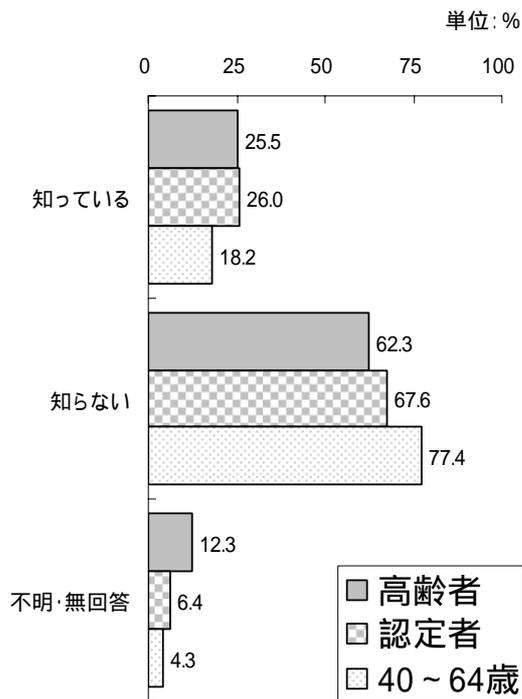


6. アンケート結果からみる高齢者の状況

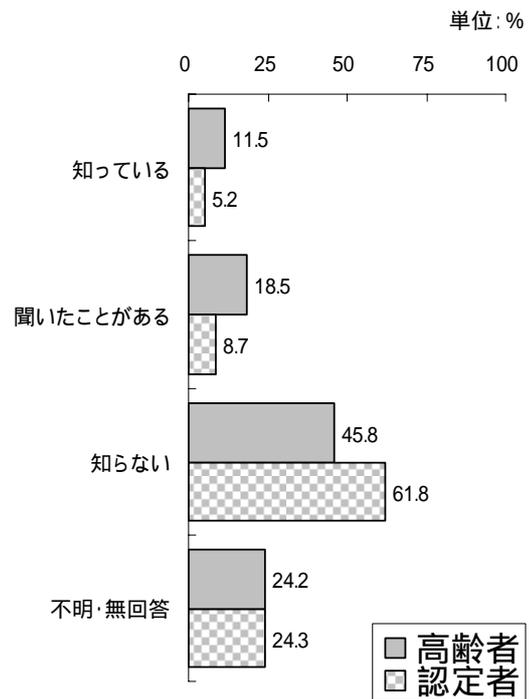
地域包括支援センター・介護予防事業の認知度について

琴平町地域包括支援センターの認知度をみると、高齢者、認定者そして40～64歳の方いずれも「知らない」が最も多く、介護予防事業の認知度についても、高齢者、認定者ともに「知らない」が最も多くなっています。

「琴平町地域包括支援センター」の認知度



介護予防事業の認知度



介護に対する希望・要望について

今後、介護が必要になったとき、希望する介護のあり方については、高齢者及び40～64歳の方で「介護保険施設と在宅サービスを併用し、自宅で介護を受ける（施設・在宅サービスの利用）」が、認定者では「介護保険施設で介護を受ける（施設サービスのみ利用）」が最も多くなっています。

また、今後、行政が特に力を入れるべきことについては、高齢者では「寝たきりや認知症（痴呆）にならないための介護予防対策を充実する」が、認定者及び40～64歳の方では「介護をする家族の負担を軽減するために、家族介護支援対策を充実する」が最も多くなっています。

希望する介護のあり方

重点をおくべき施策

